

世界遺産に登録。各種メディアも注目！

# くだら 日本との関わりも深い 百済歴史の旅

ソウルから車で約3時間の公州・扶余には、いにしへの百済伝説が眠っています

## 公州 百済文化の華咲く第二の都



公州(熊津)時代の拠点となった公山城跡

公州は、百済第二の都。

475年、高句麗から漢城(今のソウルの南)を奪われた百済は、当時「熊津」と呼ばれた公州に都を建設。63年間、都が置かれました。一時期の混乱はあったものの武寧王の時代に、王権も回復。

近年、その武寧王と妃の墓が盗掘されずに見つかったことで、これまで謎が多かった百済文化が明らかにもなりました。



盗掘されずに発見された武寧王墓



武寧王の冠飾・公州博物館蔵

## 扶余 百済最後の都「泗泚」



扶蘇山城(落花岩)から白馬江を望む

泗泚(サビ)は百済最後の都。今の扶余(ブヨ)です。

538年、第26代 聖王(聖明王)がこの地に遷都。仏教文化も花を咲かせ、日本に仏教が伝来したのも、この時代です。しかし、のちの660年、唐・新羅連合軍によって百済は滅亡へと向かいます。

都城の中核だった扶蘇山城の目下には、白馬江が、時の流れを忘れさせるかのように、ゆっくりと流れています。



趣のある白馬江の遊覧船



百済建築を再現させた歴史再現村

## 食事 芳しい香り漂う「蓮の葉ご飯定食」

扶余名物の一つは、仏教ゆかりの蓮の葉を使ったご飯。韓国らしい、たくさんのおかず類と一緒に出てきます。

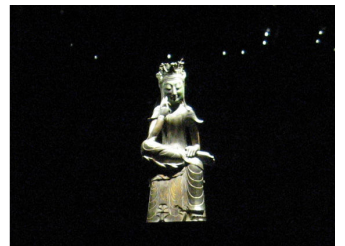
松の実、くるみ、ナツメ、栗などを入れて炊いたご飯を、蓮の葉で包んで蒸したものを、包みを開けると蓮の葉のいい香りが漂います。



## 話題 日韓国宝の半跏思惟像も対談中!?

百済との文化的繋がりを示す日韓両国の半跏思惟像。

5月24日から奈良・中宮寺の木造菩薩半跏像がソウルを初訪問。韓国の半跏思惟像と対面展示中。6月21日からは韓国の半跏思惟像が東京国立博物館に訪れ、二体同時展示されます。



韓国・台湾・東南アジア専門 ランドオペレーター

株式会社 HMC 東京都知事登録旅行業第 3-3609 号



HAND MADE TOUR  
ハンドメイドツアー

OTOA 正会員 NO.335

TEL.03-3831-4295/FAX. 03-5812-7085

〒110-0016 東京都台東区台東 4-30-8 宮地ビル本館7F

営業時間 月～金 9:30～18:30 (土日祝休業)

ホームページ <http://www.handmadetour.jp/>